

景観で「絆」を育み、景観で「選ばれる」まちをつくる

～ 南知多町景観計画作業部会（第1回）通信 ～

日時 令和4年9月30日（金）13:30～15:30

場所 南知多町役場

作業部会の目的

現在、本町では景観法に基づく南知多町景観計画の策定に向けた検討を進めています。

「景観」は、地勢をベースにした空間的な基盤の上で、人々の様々な営みにより生み出されるものであり、南知多町が目指すべき「景観」は、目指すべきまちの「視覚的な姿」に他ならないといえます。

そのため、南知多町の様々なまちづくりの施策が「景観」と関わってくるものであるとともに、「景観」の観点を考慮しながら施策を進めていくことが重要であり、庁内で景観施策を進めることの意義を共有し、連携していく必要があると考えます。

作業部会は、この庁内連携に関わる内容(施策等)の協議に重点を置き、策定後の効果的な推進につなげます。

第1回の目的

- 南知多町の景観について理解を深めます。
- 景観との連携可能性のある施策についてそれぞれが考え、今後景観計画に位置づける施策の材料とします。



次第

- 趣旨説明
 - ・作業部会の説明
 - ・スケジュールの説明
- 「景観」について理解を深める
 - ・アイスブレイク
 - ・南知多町の景観の紹介
- 現在の取組を景観の観点から振り返る
 - ・各課より取組の紹介
- 施策のアイデアを出し合う
 - ・事例についての情報提供
 - ・施策のアイデアを出し合う
- 閉会
 - ・ワークシートの説明

作業部会メンバー

区分	所属	名前
作業部会関係課	産業振興課	農政係長 榊原康広
	環境課	環境保全係長 家田直政
	まちづくり推進室	まちづくり推進室長 山本剛資
		空き家対策係長 堤田健太
	防災危機管理室	防災危機管理室長 石黒俊光
防災安全係長 戸田竹彦		
事務局	社会教育課	社会教育係長 齋藤 桂(欠席)
	建設経済部	部長 滝本恭史(欠席)
	建設課	課長 山本 剛
		都市計画係長 石橋暁登
都市計画係 山本丞馬		
		都市計画係 林 俊太
	(株)地域計画建築研究所 (アルパック)	
その他	愛知県都市・交通局 都市基盤部	公園緑地課景観グループ 課長補佐 野本敬弘(欠席)

各課による現在の施策で景観とかかわる施策の紹介

まちづくり推進室	交通	・MaaS導入による移動の目的づくりとあるが、特に進めているわけではない。持続可能な公共交通の観点から路線変更を行っており、シームレスな路線変更を進めている。中学校の統廃合が行われるので、利用しやすい取り組みを進めている。振興基本計画は古いものであり、これに基づいた施策はない。
	空き家	・管理不全の空き家対策を実施している。老朽化によって見た目が悪くなるものや、植栽の管理ができていなくて茂ったものなど景観を阻害しているものを対応している。5件に1件が空き家の町になっている。景観阻害の要因として課題であると考えている。
環境課		・太陽光発電設備の条例を策定中である。今年度策定予定であるので、景観条例とのかかわりを考えていきたい。
防災危機管理室		・山手で避難経路の整備をしている。人工的な整備方法であるため景観を損なう恐れがある可能性もある。
産業振興課		・南知多町森林整備計画があり、造林する場合はどういう樹種にするかなどを定めている。また、南知多町農業振興整備計画があり、農地として保全していくべきところを定めている。守るべきところ、転用するところの住み分けを行っている。

景観施策のアイデア

公園		・管理施設のパトロール強化 ・公園の樹木化 ・地元主体、子どもたちの取り組み
道路		・自然景観に配慮した土木施設、インフラ整備、電柱の無電中化 ・捨てられたごみの処理(道など)、道路の除草 ・治山～緑復元・デザイン 治山工事×景観 ・避難路×花壇、街路に樹木を植栽、植栽で道をかざる、並木の眺めを生かす ・公共施設の利用、公共施設新設、改修する際に南知多町らしさを取り入れる
環境		・河川の水質向上 ・花壇、ヤシノキ、カンナ、オリーブ、キョウチクトウ、ユキヤナギ、ツツジ、シャリンバイ、アベリア、ヒガン桜 ・特徴的な建物保存、避難路の花壇、並木づくり、海・農地の眺め・港のビュー保存、ヤシノ木計画
空き家		・空き家のリノベーション ・空き家対策+耐震改修 ・空き家の放置(エリアを設定)～空き家の表面のみの改修(人は住まない)
観光	資源活用	・海の音(風力発電のやかましい音が無いように) ・海沿いの建物の色を統一(漁師まちっぽい感じに) ・バスの窓から見える景色をきれいにする ・稼ぐ地域になるための景観利用
	島海・砂浜	・消防詰所や車庫を和風に ・田園風景、農地をいかす ・観光資源を活かす、有効利用
農地		・内海、山海、日間賀島、篠島の海水浴場の砂浜 ・砂浜の保全、治山工事の施工、道路修繕 ・広大な農地 ・水田や畑に近い空き家の修繕 ・バスの窓から見える景色
エリアマネジメント		・民間が主体となった景観の保全 ・『コスト』ではない『投資』としての景観施策 ・エリアマネジメントとしての景観施策



今後の予定

景観との連携可能性のある施策について、改めてそれぞれで考え、シートに記入した後、次回の作業部会を行うことになっています。次回は施策の意見交換と合わせて、町民へのアンケート調査結果や現況調査等を踏まえた課題等についても意見交換を行う予定です。

次回の作業部会は、年明け1月の開催を予定しています。